

2020年度 事業報告書

2020年1月1日～2020年12月31日

特定非営利活動法人 Earth as Mother

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人Earth as Motherは、愛知県内外と名古屋市・豊田市、日進市を中心として活動。

令和2年度の活動目標は、例年継続事業として既存会員へのご提供サービスのレベル向上の為、会員向けメール配信やホームページを展開、会報誌マザリーアースたいむず会報誌は年2回の定期的な情報発信を行い、新会員には、名刺と徽章などの配布を継続で行った。

会員以外への情報発信は、未来へつなぐ「国連生物多様性の10年」せいかりレーキックオフイベントに環境寺子屋と農事事業部で出店、「とよたつなごる博」主催の農業体験イベント、また、ボランティア募集掲載サイトの「アクティボ」へ登録し55人の応募参加があった。

今年度は新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言発令にてイベントが相次いで、中止となり、その為、愛知県や豊田市の公的な広報となる「とよた市民活動センター」のHP、「東海農政局食育メールマガジン」、「食育ネットあいち」のメールマガジン等にイベント情報の掲載を中止とした。今年度の豊田市開催のイベントについては、会員やこれまでのイベント参加者向けに案内を行った。日進市アグリスクールについては、日進市の委託事業の為、日進市役所が主体となり広報を行った。

豊田市開催の食育、食農、環境イベントでは8月以降に開催。参加者を募り、農薬・化学肥料・除草剤を一切使用しない完全オーガニック作物の安全な食農と健康に関する課題提起、解決を図った。

日進市委託事業である日進市アグリスクールにおいては、日進市役所と毎回実施に向けて協議を図り、お米作りと大豆作りを実施。最後には参加者全員が集まり共食ワークショップを開催、新型コロナウイルス感染対策を実施しながらの開催となったが、多くの参加者が集まった。

豊田市藤岡、猿投地区、日進市の田畑では、農業後継者が激減していく中、遊休農地や耕作放棄地が増えた問題や国内自給率が低い等の課題を地産地消を促す有機循環自然農法を実践し、安心安全な農薬・除草剤・化学肥料不使用の完全オーガニック氣力野菜、氣力米を作り、親子や一般参加者に提供する機会を作った。

新型コロナウイルスの影響でイベント開催は激減したが、健康で持続可能な地域社会を基盤とするコミュニティ構築を形成出来る様活動を推進し、愛知県本部より岐阜県・三重県・千葉県・兵庫県・青森県等の県外にも理念の普及啓発とマザリーアースプロジェクトの賛同実践者を増やし、会員増強に努めてきた。

各事業の具体的な内容としては、定款の目的を達成するため、次の事業を実施する。

- ① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。
- ② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業。
- ③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業。

- ④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業。
- ⑤ 社会的包摂推進に係る事業。
- ⑥ 農作業及びその付帯業務の代行及び請負事業。
- ⑦ 農具及び土壌改良資材の製造、販売事業。
- ⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る研修事業

① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業

(ア) 事業内容

WEBシステム利用の活動はメール配信にてイベント・セミナー・ボランティア等の発信。会員以外の方への情報発信は、Facebookや「とよたつながる博」主催の農業体験イベントで公募を実施。

愛知県や豊田市の公的な広報である「とよた市民活動センター」のHP、「東海農政局食育メールマガジン」、「食育ネットあいち」のメールマガジン等にイベント情報の掲載は新型コロナの影響もあり中止。

(イ) 事業内容

国際交流の場として参加している、岡崎市の生き生きコミュニティづくりやりぶらまつり2020プレイイベント、りぶらまつり2020、年末感謝祭については、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

※ 国際交流事業は、当会の理事の1人が岡崎ニュースを発行し、国際交流を長年開催されており共催にて例年実施。

(ウ) ①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 国際交流

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (国際交流)	第31回 国彩幸流会 Earth café りぶら祭り2020 コロナの為 中止	(A) R2. 8. 16 (B) 岡崎市図書館 交流プラザ (C)	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E) 参加者数	0円

① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (国際交流)	第12回 りぶら祭り2020 おかざき国彩幸流会 Earth café コロナの為 中止	(A) R2. 11. 7～8 (B) 岡崎市図書館 交流プラザ (C)	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E) 参加者数	0円
① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (国際交流)	第31回国彩幸流会 Earth café 年末感謝祭 コロナの為 中止	(D) R2. 12. 20 (E) 岡崎市図書館 交流プラザ リブラ 3階	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E) 参加者数	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 人）

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(エ) 事業内容

その他として、I-TEN(株)様の経営と従業員に対しての相談指導

(オ) ①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 その他

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
① WEBシステム利用による異業種産業情報・	会社の経営と従業員に対しての相談指導	(A) 月1回 (B) 事務所又はリモート (C) 2名	(D) 会員対象 (E) 参加者数 1名 会員1名	0円

交流を支援する事業。 (その他)		理事長 山本百百代 副理事長 村野政章		
---------------------	--	------------------------------	--	--

(2) 総費用 (無償ボランティア 人)

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 600,000円
(内訳)

・ I-TEN(株) 顧問料 600,000円

②自然再生と環境の保全活動を支援する事業

(カ) 事業内容

環境セミナーとして、会員向けに、Motherly Earth Project理念継承勉強会を開催。Motherly Earth Projectの元であるUniverse State の説明。設立趣意やコミュニティ構築に向けての目的、実践・実行に向けての講話を実施。

今回も昨年と同様に地方支部からも多数ご参加。原点・理念を多くの会員と共に学べた。総会後にマザリーアースプロジェクトセミナーを開催し、愛知の各事業部と青森、千葉、岐阜、三重、兵庫各支部の活動発表を行った。

(キ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 環境セミナー

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境セミナー)	マザリーアースプロジェクトセミナーを開催。 各エリア、支部活動発表。	(A) R2.3.14 14:00~17:30 (B) ウィルあいち セミナー ルーム4 (C) 10人 理事長	(D) 会員 (E) 参加者数 36人 会員 33人 一般 3人	0円

		山本百百代 スタッフ：5人		
②自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (環境セミナー)	Motherly earth Project理念継承勉 強会を開催。 Universe Stateの 説明。	(A) R2. 3. 15 9:30~11:30 (B) ウィルあいち セミナー ルーム4 (C) 4人 理事長 山本百百代 スタッフ：5人	(D)会員 (E)参加者数 34人 会員 34人	10,028円

(2) 総費用 (無償ボランティア10人)

総合計 10,028円

(内訳)

- ・会場賃借料 5,900円
3/15 (理念勉強会) 4,800円 (会場費)
1,100円 (ワイヤレスマイク)
- ・会議費 4,128円
理念勉強会、4,128円

(3) 収益

総合計 34,000円

(内訳)

Motherly Earth Project 理念 コミュニティづくりの勉強会

- ・会員 34,000円 (1,000円×34人)

(4) 反省点・改善ポイント

新型コロナウイルスの影響と広報が遅くなり、集客が増えなかった。
広報用のチラシ作成などを早くし集客につなげる。



(ク) 事業内容

環境イベントでは、とよたまちさとミライ塾のプログラムとして、「親子で楽しむ、原木しいたけの菌うち体験会」を開催。椎茸菌打ち体験の他に食事の提供も行った。参加した子供達は途中で飽きると予想していたが、最後までやり抜く子供達が印象的だった。

また、年4回の豊田市の主たるイベントの第2回目として「猿投町の生き物と共生する田んぼで、いきものみつけ！」と題し開催。大人も子供も自然の中で生き物と共生している事を学んだ。食育としては、完全オーガニックの氣力野菜を使用したお味噌汁などや氣力米を提供。調理は毎回参加型のワークショップ形式で行っていたが、新型コロナウイルスの影響により中止。

開催時間を短縮して行ったが、参加者からは生き物観察で生物多様性について学ぶ事が出来、食事については美味しいとの好評を得た。

(ケ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 環境イベント

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境イベント)	とよたまちさとミライ塾『親子で楽しむ、原木しいたけの菌うち体験会♪』を当会豊田市研修施設にて開催。	(A) R2. 2. 16 10:00～15:00 (B) 豊田市猿投当会研修施設 (C) 10人 理事 服部裕一	(D) 豊田市一般、会員 (E) 参加者数 16人 大人 10人 小中学生 2人	6,000円

		スタッフ：9人	幼児 4人 ※内会員 3人	
②自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (環境 イベント)	第1回 環境イベント 『猿投町の生き物と 共生する田んぼで いきものみつけ!』 を当会豊田市圃場 にて開催。	(A) R2. 8. 2 9:30~12:30 (B) 豊田市猿投 棒の手会館(裏) 当会圃場 (C) 14人 副理事長 村野政章 スタッフ：13人	(D) 豊田市 一般、会員 (E)参加者数 43人 大人 31人 小中学生 4人 未就学児 8人 ※内会員 18人	8,177円

(2) 総費用 (無償ボランティア24人)

総合計 14,177円 (6,000円+8,177円)

(内訳)

・通信運搬費	4,042円	・賃借料 (400円+400円)	800円
・保険料 (900円+600円)	1,500円	・消耗品費	2,835円
・支払手数料	5,000円		

(3) 収益

総合計 37,400円 (12,400円+23,600円+1,400円)

(内訳)

◆参加費

- ・椎茸の菌打ち体験会 (2/16) 12,400円
 - ・一般大人 (高校生以上) 12,000円 (1,200円×10人)
 - ・小中学生 400円 (200円×2人)
- ・生き物調査イベント (8/2) 23,600円
 - ・一般大人 (高校生以上) 22,800円 (1,200円×19人)
 - ・会員 0円 (1,200円×0人)
 - ・小中学生 800円 (200円×4人)
 - ・幼児 0円 (0円×1人)
- ・環境保全
 - ・マイ箸販売 (2/16) (12/6) 1,400円

(4) 反省点・改善ポイント

椎茸菌打ち体験においては、とよたまちさとミライ塾で多くの集客ができると、予想していたが、年々集客率が落ちてきているので自力での集客が必要。初めての試みであったが、怪我無く無事に終了して良かった。

生き物調査については、食事の時間を長くする必要があり、終了時間を13時でも良かったと思われる。ソーシャルディスタンスを保つのが難しいので常に声掛けが必要。
集客についてはDM中心に行う事で、リピートにつながった。



(コ) 事業内容

寺子屋のものづくりは、毎年食育イベント1回、食農イベント1回、環境イベント1回に竹や木、藁を使ったものづくりを実施していたが、新型コロナウイルスの影響による開催時間短縮の為今年度は中止。

(サ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	第1回食農イベント 「生き物いっぱいの田んぼで行う生き物調査♪」 コロナの為中止	(A) R2. 8. 2 9:30~15:00 (B) 豊田市猿投棒の手 ふれあい広場 (C) 0人	(D) 豊田市 一般、会員 (E) 参加者数 0人	0円
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	第2回食農イベント 「稲刈りと五平餅作り」 とよたつなご博 コロナの為中止	(A) R2. 10. 4 9:30~15:00 (B) 豊田市猿投棒の手 ふれあい広場 (C) 0人	(D) 豊田市 一般、会員 (E) 参加者数 0人	0円

②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	食育感謝祭 「餅つきと和太鼓演奏会」 コロナの為 中止	(A) R2. 12. 6 9:30～15:00 (B) 豊田市猿投町 当会研修施設 (C) 0人	(D)豊田市 一般、会員 (E)参加者数 0人	0円
------------------------------------	--------------------------------------	---	----------------------------------	----

(2) 総費用 (無償ボランティア 人)

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(シ) 事業内容

寺子屋ものづくり事業部としては、毎年県のテーマパークであるモリコロパークにて、春・秋まつりへ参加し「モリゾー・キッコロをハサミ一本で作る粘土教室」を行っていたが、新型コロナウイルスの影響により中止。

(ス) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	モリコロパーク春祭り ハサミ1本で作るモリゾー、キッコロの粘土教室 コロナの為 中止	(A) R2. 3. 21 (B) モリコロパーク (C) 0人	(D)愛知県内外 一般、会員 (E)参加者数 0人	0円

②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	モリコロパーク秋祭り ハサミ1本で作る モリゾー、キッコロの粘土教室 コロナの為 中止	(A) R2. 9. 19 (B) モリコロパーク (C) 0人	(D) 愛知県内外 一般、会員 (E) 参加者数 0人	0円
------------------------------------	---	--	--------------------------------------	----

(2) 総費用 (無償ボランティア 人)

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(七) 事業内容

寺子屋ものづくりとして3年連続は、「にっしんわいわいフェスティバル」にて、日進市のマスコットキャラクターである「ニッシーの粘土教室」を開催しようとしたが、新型コロナウイルスの影響により中止。

(ソ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位: 円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	にっしんわいわいフェスティバル 「粘土で作るニッシー作り」 コロナの為 中止	(A) R2. 7. 4 (B) 日進市 市民会館 (C) 0人	(D) 日進市 一般、会員 (E) 参加者数 0人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 人)

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

② 保険、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業

(タ) 事業内容

心の学校メンタルヘルスのワークショップは、心のあり方や物の考え方について悩みを抱えている方、人との調和や会社の方針に疑問を持った方、心身に病のある方等を対象として、言葉遣いや考え方を変える事で「プラス思考」に切替え、苦しい思いの人生観が変わる生き方を指導。心の問題がものの考え方を変える事で、解決に向けての必要な取組になる事を事例やマンダラ思考を通して自己改革の仕方を指導。

ワークショップ形式セミナーを愛知で毎年開催してきたが、今年度は新型コロナウイルスの影響と講師である理事長の体調不良により中止。

(チ) 事業内容

その他として企業者へのメンタルヘルス・コンサルを毎月1回指導。
障がい者事業や会社経営者の方々に対してのコンサルを毎月1回指導。
内容は利用者・スタッフの方々の心のメンタルヘルス雇用などや施設拡張等で色々な悩みが拡大の為。事業者を対象に改善策を毎月コンサル指導相談は有料で実地指導。

(ツ) 保険、医療、老人福祉及び健康促進事業

その他として企業者へのメンタルヘルス・コンサル事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事	利用者・スタッフの方々の雇用など施設拡大での雇用等の問題。事業者を対象に毎月コンサル相談をし	(A) 月1回 (B) 事務所 (C) 2人 理事長 山本百百代	(D) 会員対象 (E) 参加者数 1人 会員1人	0円

業	て指導料を頂き改善策を指導	副理事長 村野政章		
---	---------------	--------------	--	--

(2) 総費用

総合計 0円

(内訳)

(3) 収益

総合計 1,200,000円

(内訳)

・参加費

会員：1名 1,200,000円（12カ月×100,000円）

③ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業

(テ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 農事業

(2) 総費用

総合計 482,726円

(内訳)

・水道光熱費	68,750円	・租税公課	21,700円
・保険料	128,210円	・修繕費	231,811円
・消耗品費	30,000円	・支払手数料	2,255円

(3) 収益 82,400円

総合計 82,400円

(内訳)

・雑収入（集落草刈） 34,000円 ・当期売上高 50,000円

(ト) 事業内容

食育・食農の農業関連事項については、「心の学校の課外授業」として位置付けられ、食農イベントとして稲刈りを1回開催。稲刈りは「とよたつながる博」のプログラムとして実施。食育イベント1回は「食農感謝祭の餅つき」を実施。田植えイベントは、新型コロナウイルスの影響により中止。

農業を通じて豊田市猿投町と藤岡飯野町の圃場で、障がいを伴う方々（自閉症などの知的障害・発達障害等）を・うつ病・生活困窮者・生活保護者の方々や岐阜支部土岐エリアからも就労準備訓練実施。

共働共生を目指し、完全オーガニックで（農薬・化学肥料、除草剤不使用）安心安全な

農業指導を実践の中で、健康に係る問題改善や解決を図る為に、耕作地は農地バンクを活用し、不耕作地と農業後継者問題の最中、有機循環自然農法の普及を会員や一般者・ボランティアに向けての農業指導を実践。完全オーガニックの安心安全、美味しいと子供たちも喜んで食べられる野菜を提供するイベントで、食農と食育の大切さを伝える機会を増やし、健康で持続可能な社会基盤を形成出来る様に活動を推進。普及と向上と同時に環境保全で生き物や自然との共生の大切さ、いのちを育む大切さについて活動を通じて伝え、半農半就をしながら福祉と農業を活かした、自給自足のコミュニティ構築を目指して実践継続中。

今年度もCSR活動で、企業ボランティアの安城市の東和精機株式会社様に農業支援・応援・ご協力を頂き、農業ボランティア参加者の方々に日頃の感謝を込めて、収穫感謝祭にご招待の声掛けをし、一般者と一緒に楽しんで頂く企画をした。今回は残念ながら東和精機株式会社様はコロナもあり都合が合わず不参加となった。その為、後日野菜等と共にお餅を送った。

食育委員の料理スキルをワークショップ形式で薬膳の知識を元に無農薬野菜＝完全オーガニックの素材を生かした料理を参加者の親子にも体験調理指導を実施。しっかりと調理方法や薬膳効果を説明した所リピーターも増加。また、東京エリアのご協力もあり、野菜の味に感動した方々からの宅配の申し込みも少しずつ増えている。

会員やご家族に限らず、参加者の子ども達にも農業を伝承し、美味しい無農薬野菜の味を知り、元気に健康になり、未来・将来に役立つことで、イベント開催に意義が見い出せた。もし、食糧危機が来た時に農業経験が有れば、災害時に生き残れ、自然と共生をして行く事の大切さを体験していれば、農業は次世代の担い手に受け継がれると私達は信じ、青少年育成と社会人などのボランティア受入も実施。

(ナ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 食育・食農イベント

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業	第1回食農イベント 生き物いっぱいのおぼで行う素手での田植え コロナの為 中止	(A) R2. 5. 3 (B) 豊田市猿投町 当会圃場 (C) 0人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 参加者数	0円

(食農イベント)				
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業(食農イベント)	とよたつながる博 稲刈りとこだわりの お米とお味噌を使っ た五平餅づくり	(A)R2. 10. 4 9:30~12:30 (B) 豊田市猿投町 当会圃場 (C) 14人 理事長 山本百百代 スタッフ: 13人	(D)愛知県 一般、会員 (E)参加者数 66人 大人 52人 小中学生以下 8人 未就学児 6人 ※内会員 21人	13,494円
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業(食育イベント)	第1回食育イベント 食農感謝祭 杵と臼を使用した昔 ながらのもちつき、味 噌汁、和太鼓演奏と和 太鼓体験。	(A)R2. 12. 6 10:00~14:30 (B) 豊田市猿投町 当会研修施設 (C) 15人 理事 黒田留美 スタッフ: 14人	(D)愛知県 一般、会員 (E)参加者数 45人 大人 40人 小学生以下 3人 未就学児 2人 ※内会員 23人	10,768円

(2) 総費用(無償ボランティア29人)

総合計 24,262円

(内訳)

○食農イベント 13,494円

- ・講師料(2名)無償ボランティア
- ・会場費(当会にて年間通して借りている圃場なので無料)
- ・保険料 900円
- ・賃借料 400円
- ・消耗品費 12,194円

○食育イベント 10,768円

- ・講師料(2名)無償ボランティア
- ・会場費(当会の猿投寮内なので無料)
- ・通信費 3,528円
- ・賃借料 1,200円
- ・保険料 1,200円
- ・消耗品費 4,840円

(3) 収益

総合 130,500円

(内訳)

○食農イベント 稲刈り 参加費	52,000円
・一般大人（高校生以上）	50,400円（42人×1,200円）
・小中学生以下	1,600円（8人×200円）
○食育イベント・食農感謝祭参加費	78,500円
・一般大人（高校生以上）	27,500円（11人×2,500円）
・会員	16,000円（8人×2,000円）
・小学生以下	5,000円（5人×1,000円）
・スタッフ	30,000円（15人×2,000円）
・招待客	5人（山田主成ご夫婦様、藤井様2名、松林様） 9人（TSUWAMONO彩様）

(4) 反省点・改善ポイント

食農イベントは、今年度とはよたつながる博のプログラムだったので集客がスムーズに進んだ。屋外での体験だったが、密集を防ぐのが難しい為家族単位でのソーシャルディスタンスを保つ様に努めた。

食育イベントでは、新型コロナウイルスの影響で大きく広報活動が出来なかったため、定員30名まで満たなかった。スタッフについては、多くの役員の協力があり無事終える事が出来た。



(二) 事業内容

未来へつなぐ「国連生物多様性の10年」せいかりレーキックオフイベントへ寺子屋環境保全事業部とブース出展を実施。

出展をした。出展の内容は氣力野菜や氣力米、加工品のポテトフライ（カラぼて）

等の開発販売を行った。

当日の客足は少なかったが、お客様より美味しいとの評価を得た

STREET&PARKマーケット、などへの出展やレストラン・マルシェ販売と宅配を行い氣力野菜や氣力米、加工品の販売を実施。

今年度は新型コロナウイルスの影響により多くのマルシェが中止となり赤字となった。

(ヌ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 マルシェ販売

(1) 開催日時 不特定

(2) 総費用 (募集無償参加ボランティア 延べ540人)

総合計 6,589,721円

○人件費用

(内訳) 2,777,500円

・正会員従事者 (3名)

・給料手当 1,987,000円

(790,000円/6ヶ月×1人)

(100,000円×12ヶ月×1人、787,500円×1人 9ヶ月)

○その他経費用 3,812,221円

(内訳)

仕入、棚卸関係 959,970円

・当期仕入高 1,010,973円

・期首棚卸高 452,202円

・期末棚卸高 ▲503,205円

減価償却費など 2,852,251円

・新聞図書費 3,520円

・減価償却費 921,288円

・賃借料 57,600円

・地代家賃 24,000円

・保険料 255,600円

・修繕費 335,489円

・水道光熱費 58,555円

・燃料費 4,664円

・消耗品費 576,443円

・租税公課 55,000円

・通信運搬費 184,170円

・車両費 345,908円

・広告宣伝費 13,200円

・支払手数料 12,192円

・諸会費 2,057円

・接待交際費 (管理) 2,565円

(3) 収益

総合計 1,970,208円

(内訳)

・売上高 1,743,536円

<宅配販売> 763,484円 (関東エリア様販売含む)

<出展販売>	980,052円
内訳	
・デカトルフィユマルシェ (10回出店)	90,960円
・池下マルシェ (8回出店)	40,238円
・日進ワークショップ	28,830円
・朝市で語ろう	6,936円
・生物多様性EXPO	1月11日 17,588円
	1月12日 12,910円
・Street&ParkMarket (2回出展)	27,729円
・他マルシェ販売	754,861円
・その他収益	226,672円
内訳	
・雑収益 (受取運賃)	226,667円
・受取利息	5円

(4) 反省点・改善ポイント

年々と完全オーガニック(無農薬)野菜の濃味なうまみ、自然の甘み等で食べる人たちが健康になる事と実感して頂きファンが増えている。食材の効能等もサービスで付けて、食べ方も記載し大変喜んでいただいている。野菜を食べない障害の子供達が喜んで食べる事も売上が上向いている。

(ネ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 農事体験

農事体験は無慮のボランティアを受け入れる事で農業を伝承し、食の大切さを教えている事で収支も0で事業をしている。

(1) 総費用 (無償ボランティア2人)

総合計 0円

(内訳)

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

- ・宿泊費 0円 (泊× 0円)
- ・食事代 0円 (回× 0円)

(ノ) 事業内容

食育・食農・環境イベントなどにて薬膳の知識を元に当会で栽培した、完全オーガニックの氣力野菜、氣力米を使い、参加者へ食事の提供を行った。食農イベントでは愛知県の伝統料理である五平餅づくりをワークショップで実施し好評を得た。

(ハ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 食育関係

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位： 円)
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食育関係)	未来へつなぐ「国連生物多様性の10年」せいかりレーキックオフイベントにて野菜やお米などの販売とパネル展示	(A) R2. 1. 11 R2. 1. 12 10:00～16:40 (B) 名古屋国際会議場 (C) 5人 販売 会員4人 活動紹介プレゼン会員1人	(D) 一般来者 参加スタッフ (E) 参加人数 50人	1/11 1,143円 1/12 2,015円
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食育関係)	「親子で楽しむ原木しいたけの菌打ち体験会♪」 とよたまちさと ミライ塾	(A) R2. 2. 16 10:00～15:00 (B) 豊田市猿投 当会研修施設 (C) 10人 理事 服部裕一 スタッフ 9人	(D) 一般会員 (E) 参加人数 16人 大人 10人 小中学生 2人 幼児 4人 ※内会員3人	12,263円
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食育関係)	第15回 食育推進全国大会 in あいち コロナの為 中止	(A) R2. 6. 27～28 (B) 愛知県国際展示場 セントレア (C) 0人	(D) (E) 参加人数	0円

④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業(食育関係)	生き物と共生する田んぼで、いきものみつけを当会豊田市圃場にて開催	(A) R2. 8. 2 9:30~12:30 (B) 豊田市猿投棒の手会館(裏) 当会圃場 (C) 14人 副理事長 村野政章 スタッフ 13人	(C) 自然との共生に、安心安全な食育・食農に関心がある市民、会員 (E) 参加人数 42人 大人 30人 小中学生 4人 幼児 8人 ※内会員 17人	24,349円
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業(食育関係)	峰のむらさきの稲刈り、はざかけ、五平餅作り とよたまちさと ミライ塾	(A) R2. 10. 4 9:30~12:30 (B) 豊田市猿投棒の手会館(裏) 当会圃場 (C) 14人 理事長 山本百百代 スタッフ 13人	(D) 自然との共生に、安心安全な食育・食農に関心がある市民、会員 (E) 参加人数 66人 大人 52人 小中学生 8人 未就学児 6人 ※内会員 21人	22,548円
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業(食育関係)	第1回食育イベント 食農感謝祭 杵と臼を使用した昔ながらのもちつき、味噌汁、和太鼓演奏と和太鼓体験。	(A) R2. 12. 6 10:00~14:30 (B) 豊田市猿投町 当会研修施設 (C) 15人 理事 黒田留美 スタッフ: 14人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 参加者数 45人 大人 40人 小学生以下 3人 3歳児以下 2人 ※内会員 23人	52,369円
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業(食育関係)	第5回 共食ワークショップ 竹筒炊飯、豆腐作りと一年間の振り返り	(A) R2. 12. 13 (B) 日進市 総合運動公園		P29 ⑧へ P31 ⑧へ

(2) 総費用

総合計 114,687円

(内訳)

・仕入高NP0 104,198円 ・消耗品費 10,489円

(3) 収益 180,300円

○生物多様性EXP		15,400円
・おにぎり販売 (1/11)	6,400円 (400円×16個)	
・おにぎり販売 (1/12)	9,000円 (400円×15個、300円×10個)	
○環境イベント・ミライ塾 (椎茸菌打ち) 食事代		21,600円
・一般大人 (高校生以上)	5,600円 (800円×7人)	
・会員	2,400円 (800円×3人)	
・スタッフ	8,000円 (800円×10人)	
・未就学児	3,200円 (800円×4人)	
・小学生以下	1,600円 (800円×2人)	
・農事ボランティア	800円 (800円×1人)	
○環境イベント・生き物調査 食事代		31,200円
・一般大人 (高校生以上)	8,000円 (800円×10人)	
・会員	2,400円 (800円×3人)	
・スタッフ	12,000円 (800円×15人)	
・未就学児	5,600円 (800円×7人)	
・未就学児 (1歳)	0円 (0円×1人)	
・小学生以下	3,200円 (800円×4人)	
○食農イベント・稲刈り 食事代・かつおふりかけ・甘味噌		51,000円
・一般大人 (高校生以上)	22,400円 (800円×28人)	
・小中学生以下	6,400円 (800円×8人)	
・未就学児	4,000円 (800円×5人)	
・未就学児 (1歳)	0円 (0円×1人)	
・スタッフ	11,200円 (800円×14人)	
・かつおふりかけ (10/4)	3,000円 (300円×10個)	
・甘味噌 (10/4)	4,000円 (400円×10個)	
○食育イベント・食農感謝祭 食事代		40,000円
・一般大人 (高校生以上)	11,000円 (1,000円×11人)	
・会員	8,000円 (1,000円×8人)	
・小学生以下	3,000円 (1,000円×3人)	
・未就学児	3,000円 (1,000円×3人)	
・スタッフ	15,000円 (1,000円×15人)	
○日進アグリスクール		5,100円

- ・おほかぶりかけ (12/13) 5, 100円
- 甘味噌、おほか販売 16, 000円
- ・おほかぶりかけ・甘味噌 (2/16) 3, 000円
- ・手前味噌・3人分 (8/30) 13, 000円

⑤社会的包摂推進に係る事業

(ヒ) 事業内容

【平成28年3月31日 豊田市認定第2号 生活困窮者自立支援就労訓練事業所認定】
生活困窮者自立支援制度は、平成27年4月15日「現在は生活保護を受給していないが、生活保護に至る恐れが有る人で、自立が見込まれる人」を対象に、困り事に関わる相談に応じ、安定した生活に向けて仕事や住まい、子どもの学習など様々な面で支援。生活保護から脱却した人でも、再び最低限の生活を維持出来なくなる事が無い様、支援の対象となる。

その為に、都道府県や市町村に「相談窓口・就労（準備）・家計・学習支援等」が設けられている。

【暮らしに困る理由や状況は様々。支援の対象事例】

- ・離職後、求職の努力を重ねたが再就職出来ず、自信を失って引きこもってしまった人
- ・高齢で体の弱った親と二人暮らしを続ける内に、地域から孤立してしまった人
- ・家族の介護の為、時間に余裕はあるが収入の低い仕事に移った人
- ・配偶者からの暴力を逃れて家を飛び出したが、子供が幼い為に就業が難しい人
- ・いじめなどの為に学校を中退し引きこもりを続ける内に、社会に出るのが怖くなってしまった人
- ・家計の管理が上手く出来ない為に、借金の連鎖を止められない人、等々。

2016年4月～ 会場は会の農事部の圃場・作業所で農業（心の学校メンタルヘルスの課外授業として実践圃場）を通して、その方々に強制する事なく一緒に作業指導をしながら社会復帰を目指して相手の立場に立って無理なくやる気・元気を取り戻し自主性・自立支援を行う。

豊田市福祉課より生活保護者の支援も依頼されて、同じ様に取り組んでいる。専任相談支援担当者として村野政章副理事長を任命し、事業に従事。全額会費負担有給理事として雇用。

*全国エリアで理念に賛同する会員様を通じ、支部でも事業部を設立し本格的に指導を始動。

《 事業支援実施事例 》

平成29年（2017年1月）岐阜県飛騨エリア企業会員（株）ありがとうファーム

岐阜県第1号認定 生活困窮者自立支援における就労訓練事業所設立 指導

平成29年（2017年4月）

岐阜県飛騨市 就労準備支援事業 委託事業 設立指導

平成30年（2018年9月～）千葉県野田市に市民団体Earth as Mother千葉を通じ企画提案

平成31年（2019年4月）NPO法人Earth as Mother千葉 就労準備支援事業受託設立指導

平成31年（2019年4月） NPO法人Earth as Mother岐阜 NPO法人ぎふNPOセンター協働
土岐市就労準備支援事業・社会的居場所事業 業務連携指導
現在、豊田市では生活福祉課より被保護者（生活保護）の体験訓練の希望者をインセンティブ無しで受入れている。この3年豊田市就労訓練支援事業における市及び社会福祉協議会からの受け入れに関しては、事業委託金、補助金、支援金等無しで社会貢献と復帰者を生み出している。

豊田市担当部署には次年度以降の事業連携に関する事業内容を提案し重層的支援体制整備事業協議会（仮称）を設置準備中との事。

(フ) 社会的包摂推進に係る事業 生活困窮者・生活保護者の自立就労支援事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑤ 社会的包摂推進に係る事業。 (生活困窮者支援)	生活困窮に至る恐れがある人で、自立がみこまれる人の支援	(A) R2. 4. 1～ R3. 3. 31 (B) 千葉県野田市 岐阜県 土岐市 飛騨市 美濃市 (C) 1人 副理事長 村野政章	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 参加者数 7人 大人7人 ※内会員1人	3, 166, 320 円

(2) 総費用

総合計 3, 136, 320 円
(内訳)
・正会員従事者 1人
・給料手当1人 3, 130, 000 円
・消耗品費（ノートパソコン4台 中古品） 30, 320 円

(3) 収益

総合計 2, 108, 000 円
(内訳)
各支部、エリア指導料 2, 108, 000 円

(4) 反省点・改善ポイント

今年度より各地区より指導料を頂き、収益収入が上がっている。赤字事業の為に更に利益収入を上げる事が必要。

⑧前各号の事業を遂行する為に必要な事業

(へ) 事業内容

豊田市協働事業として始めたが、2016年度に助成金対象期間が終了。8期を迎えた2016年度から当法人単独での事業運営となり市民農園指導教室を年2回開講。今年度は管理担当の江譲二が講師を務め、市民農園マザリーアースを青空会場にして契約者している方対象に有料で農業の普及活動として開催。また、氣力野菜の試食会を行った。今年度は、環境イベントを通じて、契約者が増えている。また、新型コロナウイルスの影響により7月開催予定の交流会は中止となった。

(ホ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 市民農園

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧前各号の事業を遂行するために必要な事業 (市民農園)	野菜づくり 青空交流会 コロナの為 中止	(A) R2. 7. 12 10:00～12:30 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 4人 理事 服部裕一 スタッフ 3人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 参加者数 人 大人 人	円
⑧前各号の事業を遂行するために必要な事業 (市民農園)	野菜づくり 青空交流会	(A) R2. 11. 8 10:00～12:30 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 4人 理事 服部裕一 スタッフ 3人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 参加者数 7人 大人7人 ※内会員1人	2,153円

(2) 総費用 (無償ボランティア4人)

総合計 2,153円

(内訳)

- ・ 諸謝金講師料 0円 (2人無料)
- ・ 仕入高NPO 2, 153円

(3) 収益**総合計 4, 200円**

(内訳)

- ・ 市民農園青空交流会参加料 (延べ7人) 4, 200円
 - 1回目 利用者 600円×0名= 0円
 - 2回目 利用者 600円×7名= 4, 200円

(マ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 市民農園貸出**(1) 開催日及び講師等**

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位: 円)
⑧前各号の事業 を遂行するた めに必要な事 業 (市民農園)	市民農園利用者	(A) R2. 4. 1～ R3. 3. 31 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 3人 理事 服部 裕一 管理者 江 譲二 スタッフ 1人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 参加者数 借受利用者 随時 契約利用者 15人	83, 827円

(2) 総費用 (無償ボランティア4人)**総合計 83, 827円**

(内訳)

- ・ 諸謝金講師料 0円 (2人無料)
- ・ 通信費 1, 424円
- ・ 消耗品費 16, 944円
- ・ 仕入高NPO 4, 839円
- ・ 支払手数料 60, 620円

(3) 収益

総合計 146,000円

(内訳)

・市民農園利用料 (15人)	143,000円
1区画利用者	5,500円×7名=38,500円
2区画利用者	11,000円×4名=44,000円
3区画利用者	16,500円×2名=33,000円
4区画利用者	22,000円×1名=22,000円
1区画利用者	5,000円×1名=5,000円
・前受金2020年1～3月分24区画分差引	11,908円
・前受金2021年1～3月分26区画分差引	▲11,408円
・耕運代金 (1,500円×2)	3,000円

(4) 反省点・改善ポイント

新型コロナウイルスにより参加者が集まらない中、当日雨も上がり開催する事が出来た。2020年度新規利用者様の参加で土づくりの意見交換会が開催出来て良かった。既存の利用者様の参加を促すには新たな興味を引く内容が必要だと思われる。

藤の赤みそ汁やハーブティを飲みながらのゆっくりまったりとした空間での学びや意見交換は豊かな時間であると好評であった。新規利用者様の参加はあったが、既存の利用者様の参加はなかった。

無農薬農業を学ばれた結果、利用者が独立して不耕作地等を新たに借りて独立したため、利用者が減った。

(ミ) 事業内容

食や農業への理解をより増進する農業体験機会を提供する為に、日進市での教育ファーム開催検討委員会を実施。より充実したプログラム企画開発を行う。検討委員会を開催しながら事業を進める事により、次年度実施予定の農業体験を一時的なイベントでは無く、生産者の指導を受けながら大人も子どもも一連の農作業や伝承農法等を体験する中で、地域の農業や田畑が洪水防止、生物多様性保全、地域の食文化や伝統文化の継承など多くの機能を持っている事に気付き、農業の魅力を再発見する機会を多く提供する事に繋がる為、令和元年、2年に農林水産省食料産業・6次産業化交付金(愛知県 地域での食育の推進事業)の助成を受け実施。愛知県立大学より、愛知県立大学 外国語学部の教授と教育型インターンシップにて2名の学生が参加。

(ム) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業 教育ファーム検討委員会**(1) 開催日及び講師等**

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 (協働事業)	(農林水産省、食料産業・6次産業化交付金) 令和元年度 第5回教育ファーム 検討委員会	(A) R2. 1. 30 10:00～11:45 (B) 日進 市民文化会館 (C) 5人 理事長 山本百百代 スタッフ 4人	(F) 日進市職員、日進市 市民など (G) 参加人数 11人 市役所職員 3人 一般 3人 事務局 4人 福祉関係者 1人	122,757円
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 (協働事業)	(農林水産省、食料産業・6次産業化交付金) 令和2年度 第1回教育ファーム 検討委員会	(A) R2. 10. 29 10:00～11:45 (B) 日進 市民文化会館 (C) 5人 理事長 山本百百代 スタッフ 4人	(D) 日進市職員、日進市 市民など (E) 参加人数 10人 市役所職員 2人 一般 3人 事務局 4人 福祉関係者 1人	1,502円
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 (協働事業)	(農林水産省、食料産業・6次産業化交付金) 令和2年度 第2回教育ファーム 検討委員会	(A) R2. 11. 24 10:00～11:45 (B) 日進 市民文化会館 (C) 5人 理事長 山本百百代 スタッフ：4人	(D) 日進市職員、日進市 市民など (E) 参加人数 14人 市役所職員 3人 一般 6人 事務局 4人 福祉関係者 1人	1,040円

⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業(協働事業)	(農林水産省、食料産業・6次産業化交付金) 令和2年度第3回教育ファーム検討委員会	(A) R2. 12. 22 10:00~11:45 (B) 日進 市民文化会館 (C) 5人 理事長 山本百百代 スタッフ 4人	(D) 日進市職員、日進市市民など (E) 参加人数 12人 市役所職員1人 一般 6人 事務局4人 福祉関係者1人	8,396円
----------------------------	---	--	--	--------

(2) 総費用(無償ボランティア16人)

総合計 133,695円

(内訳)

・旅費交通費	8,915円	・賃借料	7,290円
・通信運搬費	252円	・資料印刷費	1,040円
・消耗品費	5,896円		
・令和2年度教育ファーム検討委員会(雑給)	107,224円		
・令和2年度教育ファーム検討委員会 講師(雑費)	3,078円		

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

日進市役所関係者や大学教授、日進市アグリスクール参加者、日進市各団体の方、インターンシップの大学生が参加され、令和3年度以降の共育プログラム等について、活発な提案がされ良い会合となった。

(メ) 事業内容

日進市の委託事業として『日進アグリスクール米作り体験コース2020』を6月21日(日)の『素手での田植え&どろリンピックMINI』より開催。田んぼ内での徒競走や泥遊び、田植えを実施。当初は、第1回目の『どろリンピック』を5月10日より開催しようとしたが、新型コロナウイルスの影響と天候不良により順延。

7月26日(日)には、第2回目の『自然・生き物観察』を開催。除草のレクチャー稲の成長状況を説明。田んぼに生えている草を調査する為、ビンゴゲームを行った。その後、生き物観察をして捕まえた生き物の発表会を行った。

10月11日(日)には、第2回目の『手鎌で稲刈り。はざかけ』を開催。講師は当会農事業部委員の山田が担当し昔ながらの手鎌での稲の刈り方やはざかけのレクチャーを実施。

11月1日（日）には、第4回目の『足踏み脱穀・わらリンピック』を開催。昔ながらの足踏み脱穀機を使用した脱穀方法やわらとり等を行い、コンバインや足踏み脱穀から機械に進化した内容を説明し、わらリンピックと題し、親子一組での徒競走、わらなげ大会を実施。

12月13日（日）には、最終回として『共食ワークショップ』を開催。講師は当会理事の服部や食育委員の尾家が担当し、日進市アグリスクールで栽培した峰のむらさきを使った。竹筒炊飯体験を薪割り、火つけから、米研ぎ、炊飯まで実施。また、1年間の振り返り。参加する事で自然に触れ、農業を体験する事で子ども達に良い影響を与えて頂いた等嬉しい感想があった。最終の共食ワークショップでは食育の必要性や野菜や米も薬膳的効能など伝えている。一年を通じ参加者が満足する内容となった。

(モ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び

日進アグリスクール米作り体験コース2020

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第1回 峰のむらさきの田植え、 苗取り、どろリンピック	(A) R2. 6. 21 (B) 日進市当会圃場 (C) 6人 村野副理事長 スタッフ5人	(D) 一般市民 (E) 参加者数 61人 大人 36人 小中学生 11人 未就学児 14人	0円
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第2回 生き物観察。除草など	(A) R2. 7. 26 (B) 日進市当会圃場 (C) 5人 村野副理事長 スタッフ4人	(A) 一般市民 (B) 参加者数 37人 大人 18人 小中学生 11人 未就学児 8人	700円
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第3回 峰のむらさきの 稲刈りとはざがけ。	(A) R2. 10. 11 (B) 日進市当会圃場 (C) 5人 村野副理事長 スタッフ4人	(D) 一般市民 (E) 参加者数 33人 大人 16人 小中学生 7人 未就学児 10人	0円

⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第4回 峰のむらさきの足踏み脱穀。 わらリンピック。	(A)R2. 11. 1 (B)日進市当会圃場 (C)5人 村野副理事長 スタッフ：4人	(D)一般市民 (E)参加者数 32人 大人 14人 小中学生 9人 未就学児 9人	0円
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第5回 共食ワークショップ 竹筒炊飯と一年間の振り返り	(A)R2. 12. 13 (B)日進市 総合運動公園 (C)17人 村野副理事長 スタッフ 16人	(D)一般市民 (E)参加者数 26人 大人 12人 小中学生 5人 未就学児 9人	11,765円

(2) 総費用 (無償ボランティア38人)

総合計 89,750円

(内訳)

- ・広告宣伝費 4,870円
- ・賃借料 43,310円
- ・仕入高 6,735円 (レンゲ天領米 2,723 峰のむらさき 1,362 人参 490
ネギ 143 方領大根 195 白菜 200 さつま芋 1,622)
- ・通信運搬費 140円
- ・支払手数料 385円
- ・消耗品費 5,030円 (どんぶり等、プラカップ、紙ボール等
10,059÷2=5,029.5 小数点以下繰上)
- ・印刷製本費 700円

その他 費用

- ・消耗品費 (共通) 28,580円 (草刈り機 45,980、クワ 11,180 57,160÷2=28,580)

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

広報につしんや日進市のサイトやメールにて集客を実施。募集時点では満員となったが、新型コロナウイルスの影響で次第に参加者が減少した。また、につしん<食育食農>共育ファームにつしん米作り体験コース独自のHPを

作成し随時ブログの更新をする事により、お客様に現状の田んぼの状態や振り返り報告も可能となった。





(ヤ) 事業内容

日進市の委託事業として大豆の栽培から豆腐作り迄の一連の体験をする『日進アグリスクール6次産業体験コース2020』を7月23日(木)の『植え付け作業』より開催。クワ等の道具の使い方やあらかじめ作っていた畝に種を植えられる様、土をほぐす作業、10年間採取し続けてきた大豆を1粒ずつ植え付ける作業を行った。

当初は、第1回目を6月28日より開催しようとしたが、新型コロナウイルスの影響と天候不良により順延としている。

9月13日(日)には、第2回目の『管理作業』を開催。根を残して草を切るのはなぜかといった自然農法のノウハウを伝え、草刈りやたい肥まきを行った。

10月18日(日)には、第3回目の『枝豆収穫・試食』を開催。前半は、管理作業を実施。雨上がりで畑の状態は悪かったので土寄せ作業をやめ、草切り作業を行った。

後半は、枝豆収穫&試食を実施。枝豆は生での試食と炭火でのホイル焼きでの試食を行った。

11月22日(日)には、第4回目の『大豆の収穫・試食』を開催。前半は、大豆の収穫とはざがけ、豆たたき作業。後半は煎った大豆の試食を実施。

12月13日(日)には、最終回として『共食ワークショップ』を開催。講師は当会理事の黒田留美や食育委員の疇地が担当し、日豆腐作りは豆乳とおからづくりまでの過程は紙芝居形式で説明し、最後のにがりを投入し固めるまでの工程を実施。

また、体験コースの一年間の振り返りを行った。

自分たちの育てたお米などを食する事で、食育・食農・共育の大切さを伝える事が出来た。

(ユ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

大豆栽培から豆腐作りの6次産業体験コース2020

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。	第1回 大豆の植え付け	(A) R2. 7. 23 (B) 日進市当会圃場 (C) 5人 村野副理事長 スタッフ4人	(D) 一般市民 (E) 参加者数 39人 大人 22人 小中学生 12人 未就学児 5人	0円
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。	第2回 管理作業など	(A) R2. 9. 13 (B) 日進市当会圃場 (C) 5人 村野副理事長 スタッフ4人	(C) 一般市民 (D) 参加者数 39人 大人 20人 小中学生 12人 未就学児 7人	0円
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。	第3回 枝豆収穫、試食など。	(A) R2. 10. 18 (B) 日進市当会圃場 (C) 5人 村野副理事長 スタッフ4人	(D) 一般市民 (E) 参加者数 23人 大人 11人 小中学生 7人 未就学児 5人	0円
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。	第4回 大豆の収穫、試食	(A) R2. 11. 22 (B) 日進市当会圃場 (C) 7人 村野副理事長 スタッフ：8人	(D) 一般市民 (E) 参加者数 18人 大人 9人 小中学生 6人 未就学児 3人	0円
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。	第5回 共食ワークショップ 竹筒炊飯と一年間の振り返り	(A) R2. 12. 13 (A) 日進市 (C) 5人 村野副理事長 スタッフ 4人	(D) 一般市民 (E) 参加者数 15人 大人 7人 小中学生 4人 未就学児 4人	13,069円

(2) 総費用 (無償ボランティア6人)

総合計 66,759円

(内訳)

・賃貸料	25,000円	・支払手数料	110円
・仕入高	7,061円	(煎り胡麻など3,516円、にがり324円、味りん382円 大豆 2,431 生姜 75 人参 190 ネギ 143)	
・消耗品費	6,008円	(さらし979円、どんぶり等、プラカップ、等 10,059÷2=5,029.5 小数点以下切捨 5,029)	

その他 費用

・消耗品費 (共通) 28,580円 (草刈り機 45,980、クワ 11,180 57,160÷2=28,580)

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

反省点・改善ポイント

広報にっしんや日進市のサイトやメールにて集客を実施したが思う様に、新型コロナウイルスの影響で集客が出来なかった。

また、にっしん<食育食農>共育ファームにっしん米づくり体験コース独自のHPを作成し随時ブログの更新をする事により、お客様に現状の畑の状態や振り返り報告も可能となった。



⑨管理事業

(ヨ) 事業内容

(2) 事務局管理費

1 総費用

総合計 3,266,823円

(内訳)

管理費の内訳

法定福利費 (管理)	707,603円
旅費交通費 (管理)	400円
通信費 (管理)	477,749円
会議費 (管理)	11,262円
賃借料 (管理)	22,300円
地代 家賃 (管理)	840,000円
修繕費 (管理)	55,000円
水道光熱費 (管理)	367,477円
消耗品費 (管理)	130,761円
租税公課 (管理)	48,077円
広告宣伝費 (管理)	24,689円
支払手数料 (管理)	518,021円
印刷製本費 (管理)	11,509円
諸会費 (管理)	46,975円
支払寄附金 (事業)	5,000円

2 収 益

総合計 3,355,924円

(内訳)

正会員受取会費	415,000円
団体・企業受取会費	30,000円
賛助会員受取会費	3,000円
受取入会金	5,000円
寄付金収入	1,811,134円
受取助成金	223,000円
受取助成金 (環境保全共通)	157,760円
管理	661,500円
雑収益	49,020円
受取利息	510円

※来年度からの事業に関して昨年多大な寄付金を頂いた。

(3) その他の事業に係る事業

※本年度は実施せず。

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

ア 通常総会

通常総会

- ・開催日時及び場所

令和2年3月14日 13:00～14:00

ウィルあいち 会議室4

- ・議題

- ① 第一号議案 平成31年(令和元年)度 事業報告、決算報告について
- ② 第二号議案 平成31年(令和元年)度 監査報告について
- ③ 第三号議案 平成31年(令和元年)度 寄附金活用報告について
- ④ 第四号議案 令和2年度 事業計画(案)、活動予算(案)について
- ⑤ 第五号議案 令和2年度 理事(案)について
- ⑥ 第六号議案 令和2年度 運営組織・人事(案)について
- ⑦ 第七号議案 定款内容変更について
- ⑧ 第八号議案 農事事業の専任者新規雇用について
- ⑨ 第九号議案 その他について

(2) 理事会

イ 理事会

第1回理事会

- ・開催日時及び場所

令和2年2月29日 13:20～ 19:00

鶴舞事務所

- ・議題

- ① 第12回通常総会議案について
- ② 第12回通常総会プログラムについて
- ③ その他について

第2回理事会

- ・開催日時及び場所

令和2年12月22日 19:20～ 1:00

鶴舞事務所

- ・議題

- ① 令和3年度事業方針について
- ② 令和3年度年間スケジュールについて
- ③ 令和3年度組織、理事、監事について
- ④ 令和2年度寄附金使用について
- ⑤ 令和3年度 日進市新規事業受託について
- ⑥ 令和3年度各事業部門予算について
- ⑦ その他について